

土砂くずれの話

平間

整

きのう年の冬、ぼくはじどう館でおかあさん  
のまむかえをまいていました。なかなか来な  
いので、  
「お母さん、おそいなあ」  
と田んぼに行きました。お母さんがまむかえに  
まきました。  
「おそくちよってづめんあ。高速道路が土砂く  
ずれで、道が通行止めだ。たの。」

とぼくおあさんが言いました。  
「おへんだ。たの。」  
とぼくは、思いました。  
ぼくがおじいちゃんの家に行くとき、  
高速道路は、山をけずってつくってあります。  
だから雨が地しんでくずれやすいのです。  
ぼくは、山が大すきです。それは、山を見  
ると心がほっとするからです。あと、山の形  
が色々あって、いろいろな形になつたの  
かを考えるのがおもしろいからです。

でも、きけんがとるも、いっはいありま  
す。たとえば、土砂くずれが火山のふん火を  
とります。大雨で土石流がかけくずれがおきる  
と、家が下じきになたりながされたりしま  
す。コンクリートがぬれるくらい強い力で  
土砂くずれは雨がたまると後でもおきるこ  
とがあるのだけれど、たいていはいけません。それ  
は雨で土や石がすべったりころかりおすくな  
るからです。

ほくは、この夏、青森けんに行くと、これ  
で大雨にありました。川の流れが速くなると  
道がこわれそうでした。わがたは、

車がぬれるかも  
と思っておくときんちようして出まわら  
ず、帰りに晴れて、大好きな岩木山も見え  
ました。

ほくは山が好きなので、ほかの県やほかの  
国の山も見てみたいです。そのときは、天気  
に気をつけて活動していきたいです。